# 12月に向けて

代表取締役 三田雅憲

少しずつ、肌寒い一日に向かっており、山々の紅葉も深まっております。
又、新型コロナに関しても第3波と呼ばれ、感染者数が増加の一途をたどっております。Go Toキャンペーンも大阪市や札幌市が除外されるほど深刻さを増しておりますが、社員及びご家族様は更なる予防に努めて頂きたくよろしくお思いします。ITや薬品・ゲーム業界など景況な業界も一部ございますが、私どもを取り巻くものづくりに関しては厳しい状況も続いており、ワクチンの開発や、感染者の減少を願わずにはおれません。そんな中ですが、当社には未来を担う新しい仲間が今年の9月10月11月に続き、12月にも加わる予定であります。本社でも千葉でも先輩がその新人を一生懸命技術指導してくれている姿にありがたく感じております。新人にとっては覚えることだらけだし、先輩や班長によって指導する内容が少しずつ違うので戸惑うことも多いと思いますが、身体にしみ込ませて自分の技術としてもらいたく思います。小さい会社ではありますが、近年も一流ホテル、一流ブランド、一流オフィスビル、有名公共施設のメインをかざる金物の表面処理塗装を数多く仕上げてまいりました。言わば、小さな巨人といっても過言ではありません。過去の当社の実績や現場での話し、又他の同業を見て当社の優れた面なども先輩たちは新しい仲間にぜひ伝えてやってもらいたいと思います。そして、華々しい過去だけではなくこれから未来に向けてまさに新しい仲間とともに皆で仕上げていく製品をぜひ増やして頂きたく思います。うまくいく事ばかりではありません。失敗をしてお客さんだけでなく、先輩や会社に迷惑をかけることも出てくるかもしれません。しかし、それを心から反省して次に繋ぐ努力をし続ければそれは、必ず成功のもととなりますので粘り強く頑張ってほしく思います。日々の小さな努力の積み重ねや、その日その日を精一杯やることとその日の反省と改善の積み重ねが、振り返った時に大きな力になること間違いないと思います。
今月は、パナソニック創業者の松下幸之助さんの「道をひらく」より自問自答の一節を皆さんと学びたいと思います。

**「自分のしたことを他の人々が評価する。褒められる場合もあろうし、けなされる場合もある。冷ややかに無視されることもあろうし、過去の評価にびっくりすることもあろう。しかし、嬉しくなって心躍る時もあれば理解の乏しさに心を暗くする時もある。だが、やっぱり大事なことは他人の評価もさることながら、まず自分で自分を評価するということである。自分のしたことが本当に正しかったかどうか、その考えその振る舞いに本当に誤りがなかったかどうか、素直に正しく自己評価するということである。そのためには素直な自問自答を自らに問いつつ、自ら答える。しかしそこから真の勇気が湧く、真の知恵も湧いてくる。」**

と書かれています。これでよかったのだろうか。もっと、こうすればといった技術に対する素直な問いかけが、勇気や知恵の源泉であると松下さんは述べられております。自分の頭や心で考えて答えを出していくといったことを特に新しい仲間にはプロとしてやっていってもらいたく思います。
12月師走は本社千葉とも忙しい日が続くと思いますが事故・ケガ・コロナに十分注意して仕事にまい進していって下さい。